

今村文・森田晶子『撫でていかなければならない』開催のご案内

展覧会名：今村文・森田晶子『撫でていかなければならない』

会 期：2017年4月22日（土）～5月21日（日）

オープニングレセプション：4月22日（土）18:00-21:00

- ・会期中は、水～土 12～19時、日 12～18時のオープンとなります。（定休日：月火祝）※本展から営業時間及び休廊日が変更になります。
- ・なお、GW中は29日（土・祝）は特別オープン、30日（日）もオープン、3・4・5日の祝日はクローズとさせていただきます。6日以降は通常通り。
- ・本展のオープニングレセプションを、展覧会初日の4月22日（土）18～21時に開催します。作家も在廊いたします。
- ・初日も展覧会は通常通り12時よりオープンしております。

会 場：WAITINGROOM（東京都渋谷区恵比寿西2-8-11 渋谷百貨ビル3F 4B）

WAITINGROOM（東京）では、2017年4月22日（土）から5月21日（日）まで、今村文・森田晶子の2人展『撫でていかなければならない』を開催いたします。当ギャラリーでは初めて展示する名古屋在住のPainter・今村文は、蜜蝋を用いた独自の制作方法で、植物をモチーフにペインティングとドローイングを制作しています。当ギャラリーで2015年に個展を開催して以来の展示となる森田晶子は、絵画の他に陶芸や映像等を学んだ独特のバックグラウンドを持ち、顔料や支持体の捉え方に対して独自の方法を探求しているPainterです。本展は、2人の絵画に対する振る舞い方をテーマにしながら、今村は新旧織り交ぜた都内では全て未発表のペインティングとドローイングを、森田は全新作のペインティングを中心に構成される2人展であり、エビスアートラボ（名古屋）との同時開催となります。



今村文《無題》2016年、エンカウスティーク、パネル、漆喰、直径 170 cm



森田晶子《漂着》2017年、パネルに油彩とアクリル、直径 47 cm

作家・今村文について

1982年愛知県生まれ、愛知県在住。金沢美術工芸大学大学院絵画専攻油画コース修了。近年の展覧会に、2016年『愛知トリエンナーレ 虹のキャラバンサライ』（長者町会場 八木兵6号館、喫茶クラウン / 名古屋）、2015年個展『見えない庭』（山鬼文庫 / 石川）、2015年グループ展『芸術植物園』（愛知県立美術館 / 名古屋）、2015年グループ展『豊饒なるもの～現代美術in愛知』（桜ヶ丘ミュージアム / 愛知）、2014年個展『絵という肉体を持った幻』（YEBISU ART LABO / 名古屋）、2012年『モンブランヤングアーティストパトロナージュ』（モンブラン銀座本店 / 東京）が挙げられます。

作家・森田晶子について

1977年富山県生まれ、愛知県在住。武蔵野美術大学造形学部映像科中退後、1999年に愛知県立瀬戸窯業高校陶芸専攻科を終了し、2005年にセツ・モード・セミナーを卒業。日常と空想の移ろいをテーマにした作風が特徴的なPainterです。近年の展覧会に、2015年個展『sound sleep』（WAITINGROOM / 東京）、2014年グループ展『シブヤスタイル Vol.8』（西武渋谷店B館8階美術画廊 / 東京）、2013年個展『むこうがおか』（WAITINGROOM / 東京）、2013年グループ展『であ、しゅとるむ』（名古屋市民ギャラリー矢田 第1展示室 / 愛知）が挙げられます。

↓<次頁> 展覧会について

絵画が生まれるその時のため

自身の制作について「美しい石とか貝殻のようなものが作りたい。」と語る今村は、「そのためには私は、風とか打ち寄せる波にならなければならない。」と続けます。「そのために私は、毎日帰ってくる猫の人の頭を撫でて送り出す。そのために私は、その絵が何にも良く見えないとしても、それがとてもくだらないものに見えても、描き続けなければならない。」目の前にあるものを残らず等しく撫でてゆく風や波のように、すべてに公平に触れられた時、作品の誕生を見るのです。本展のタイトル『撫でていかなければならない』は、こうした考え方から生まれました。「～していかなければならない」という言い回しには、「もう決まっていることだからそうせざるをえない」という、絵画への態度や振る舞い方が表れています。

あいちトリエンナーレ2016での展示も記憶に新しい今村は、着色した蜜蝋を溶かしてパネルへ定着させる蜜蝋画の手法で。森田は、アクリル絵具で着色した後に油絵具を厚塗りし、それを引っ搔いてモチーフを描いた上に再度 着色をして仕上げるという手法で。パレットに出した絵の具を絵筆を使って画布に塗るといった一般的なペインティングの手法ではなく、鉱物・植物・虫といった自然のものから成る油脂や樹脂でできた絵の具そのものの美しさや強さに重きを置いた独特の手法にそれぞれが至っているのは、あくまで制作過程の結果として「そうなった」ものだからであり、特徴的な手法それ自体が目的なわけではありません。「自分が描くべき絵のなかで、自分の意思は決して第一の優先事項ではない」という共通の考えが、2人の制作の根底にあります。

「『描く』というより最後にそれを留める役をしているに過ぎない」と語るように、絵画において各々の身体は、絵の具や蜜蝋と同じメディウムのひとつであり、またそうであるべきだと考えられています。絵の具が流れて固まってできるひずみに、それを前にした自分が反応を返していく。その繰り返りで平面が出来上がるさまは、まるで風紋や水紋、美しい錆が発生していく時のようです。それは受動的ですが、同時に能動的に肯定をくりかえしていく、非常に頑固な作業でもある、と2人は語っています。

それぞれ特徴的な手法で制作しながらも、絵画に対する振る舞い方に共通の感覚を持った2人が出会い、2人の掛け合いから実現した今回のコラボレーションに、是非ご期待ください。

*YEBISU ART LABO (名古屋) での2人展『紋のかたまり』は、5月6日(土)から28日(日)まで開催予定です。
詳細は、<https://yebisu-art-labo.jimdo.com> をご確認ください。



今村文《PQRST6》2017年、水彩、コラーージュ、100.5 x 76.4 cm



森田晶子《Arcadia》2017年、パネルに油彩とアクリル、直径 39 cm

森田 晶子

1977年 富山県生まれ
現在は愛知を拠点に活動中

学歴

2005 セツモードセミナー卒業
1999 愛知県立瀬戸窯業高校陶芸専攻科修了
1996 武蔵野美術大学造形学部映像科中退

個展

2015
sound sleep - WAITINGROOM (東京)

2013
むこうがおか - WAITINGROOM (東京)

2011
カミナリの花 - WAITINGROOM (東京)
through the fog - Satellite (岡山)

2010
けむる夜を着て - WAITINGROOM (東京)

2008
spoonful - 銀座Galleryフォレスト (東京)

グループ展

2014
シブヤスタイル Vol.8 - 西武渋谷店B館8階美術画廊 (東京)
SUMMER GROUP SHOW - FROM NOW ON - WAITINGROOM (東京)

2013
YOUNG ART TAIPEI (アートフェア) - Sheraton Grande Taipei Hotel 台北喜來登大飯店 (台北・台湾)
であ、しゅとうるむ - 名古屋市民ギャラリー矢田 第1展示室 (愛知)

2012
Gallerist Meeting x SOMEWHERE 非日常のライフスタイル - 渋谷ヒカリエ 8/CUBE 1,2,3 (東京)
Night Songs - WAITINGROOM (東京)
New City Art Fair (アートフェア) - hpgrp Gallery New York (ニューヨーク・アメリカ)

2011
ULTRA004 (アートフェア) - スパイラル (東京)
in the waitingroom - WAITINGROOM (東京)
べつの星 - NOW IDEa (東京)

2010
ULTRA003 (アートフェア) - スパイラル (東京)

出版物

『the sound sleepers』森田晶子、2015年10月28日発行

アーティストウェブサイト

<http://shokomorita.com>



森田晶子《河岸の砂》2017年、パネルに油彩とアクリル、38 x 100 cm



森田晶子個展『sound sleep』2015年、展覧会風景
(会場：WAITINGROOM・東京 撮影：松尾宇人)

今村 文

1982年 愛知県生まれ
現在は愛知を拠点に活動中

学歴

2008 金沢美術工芸大学大学院絵画専攻油画コース修了

個展

2015
見えない庭 - 山鬼文庫 (石川)

2014
絵という肉体を持った幻 - YEBISU ART LABO (名古屋)

2011
今村文個展 - YEBISU ART LABO (名古屋)
今村文個展 - 名古屋市市政資料館 (名古屋)

2009
今村文個展 - 木曜日 (名古屋)

2008
今村文個展 - musee (金沢)
忘却の川 - 彗星倶楽部 (金沢)

2007
melting point - limArt (東京)

グループ展

2016
あいちトリエンナーレ 虹のキャラバンサライ - 長者町会場 八木兵6号館、喫茶クラウン (名古屋)

2015
芸術植物園 - 愛知県立美術館 (名古屋)
豊饒なるもの ~現代美術 in 愛知 - 桜ヶ丘ミュージアム (愛知)

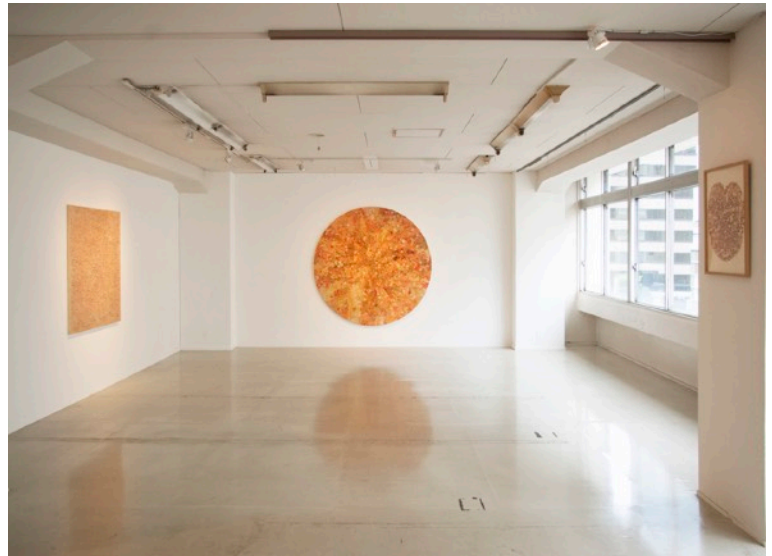
2012
モンブランヤングアーティストパトロネージ - モンブラン銀座本店 (東京)
woodlandgallery2012 - 美濃加茂文化の森 (岐阜)
ALaproject no7今村 文- アートラボあいち (名古屋)

2011
woodlandgallery2011 - 美濃加茂文化の森 (岐阜)

2008
Art award tokyo 2008 - 丸の内行幸地下ギャラリー (東京)

アーティストウェブサイト

<http://imamurafumi.weebly.com>



今村文個展・あいちトリエンナーレ、2016年、展覧会風景
(会場：長者町会場八木兵6号館・名古屋)



今村文《ふたつのチューリップ2》2017年、紙にコラージュ、39 x 29 cm

※本展に関するお問い合わせは、下記連絡先までお願いいたします。

WAITINGROOM (代表：芦川朋子)

住所：〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-8-11 渋谷百貨ビル 4B

営業時間：水木金土 12-19時・日 12-18時

定休日：月火祝

Tel&Fax：03-3476-1010 Eメール：info@waitingroom.jp

Web：http://waitingroom.jp